



事務局第9号
平成23年5月27日

日本ペット訪問火葬協会 会員各位

日本ペット訪問火葬協会 事務局

平成23年度 日本ペット訪問火葬協会主催 大阪セミナーのご報告

拝啓 会員の皆様におかれましては、ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。平素は格段のご高配を賜り、誠にありがとうございます。

さて、先に行われました東京セミナーに続き、平成23年5月25日(水)に梅田センタービルに於いて、当会主催のペット訪問火葬業者向け大阪セミナーを開催いたしました。ここにそのご報告をさせていただきます。

なお、ご質問やご要望等がございましたら、事務局までご連絡をくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

1. 日時 平成23年5月25日(水) 14:00~16:30

2. 会場 梅田センタービル 16階 D会議室

3. 参加者 19社 23名(会員 5社、一般参加 14社)

4/13東京セミナーの参加者 26社 30名(会員 7社、一般参加 19社)

4. プログラム

特別講演「動物の死後と供養について」

講師：浄土宗総本山 知恩院 常任布教師

株式会社ワンハート・コミュニケーション 代表取締役

田中龍彦様

議題 「地方自治体の条例について」

A. 火葬炉の構造基準の動向

B. 条例の施行状況(一部地域)

議題 「環境省・東京都におけるペット火葬の規制化の動向」

「日本ペット訪問火葬協会の役割について」

議題 共に、講師：日本ペット訪問火葬協会 会員



5. 概要

当セミナーには会員の他、関西を中心としたペット訪問火葬業者に参加を勧誘し、大阪府・京都府・兵庫県・奈良県・山口県から19社23名が出席した。当日不参加者なし4/13の東京セミナーを含め、両セミナーの都道府県別参加者は、
東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県・群馬県・山梨県・愛知県・京都府・大阪府・
兵庫県・山口県・福岡県 の1都2府9県で、総参加者は40社48名となった。

特別講演「動物の死後と供養について」においては、講師の田中氏より、寺院・動物供養協議会・ペット訪問火葬業界の関係性について説明があった。質疑応答では、参加者より質問があった。

議題 「地方自治体の条例について」

「火葬炉の構造基準の動向」は、会員で火葬炉メーカーである「サントイ株式会社」の藤井より火葬炉の専門的な報告を行い、主な市区町村の条例の施行状況の報告があった。

「条例の施行状況（一部地域）」は、会員の「さいたまペットセレモニー」の藤原の作成した資料をもとに、埼玉県の市区町村の条例の施行状況の報告を事務局の「ペットP a P a」高橋が報告した。

議題 「環境省・東京都におけるペット火葬の規制化の動向」においては、先の東京セミナーの特別講師であった株式会社メッツ研究所の矢坂氏の資料をもとに事務局の「ペットP a P a」高橋が報告した。

「日本ペット訪問火葬協会の役割について」は、同じく高橋が、これからの当会の在り方について説明をした。

6. 今後の予定

ペット訪問火葬業者の総意として意見が出せる団体を目指し、会員数を全国的に増やさなければならない。

そのため業務運営基準を修正し新規会員を募り、今後発生する様々な問題の解決を、業界全体で図る。

臨時総会の開催（6月）

目的としては、

業務運営基準、定款の修正のため

新規会員を含めた新体制（新執行部）を発足させるため

以上